

# スポーツクラブ人国記

(2)

硬式  
野球部編

## オン・ルール・フェアプレー 人間主義で偉大な足跡

稲葉 重男さん  
(昭16年・学部卒)



故 稲葉重男さん

ともに歩んだ稲葉重男(平成5年76歳で死去)の名は、今も数々の伝説とともに語り継がれる。

大阪市立扇町商(現扇町総合高校)から昭和10年、旧制大阪商科大学予科入学。硬式野球部では1年から三塁手、投手として活躍した。小柄だが、攻守に

硬式野球部は大正5年創部。平成28年に100周年を迎える。OBは総勢650人以上。そのひとりひとりが青春の情熱を野球にささげ、部の歴史と伝統を築き上げてきた。

なかでも選手、監督、総監督、OB会長として生涯の大半を硬式野球部と

気迫あふれるプレーでチームを引っ張った。特に旧三商大戦は闘志むき出しで臨んだ。

旧制神戸商業大学(現神戸大)OB会機関誌は稲葉のプレーぶりをこう紹介している。

「稲葉氏は、右上手投げでかなりス

ピードがあり、モーションが早く、がむしゃらで、決して華麗なフォームではないが、黒ぶちの眼鏡を通して眼光鋭く、人一倍負けん気が強い選手で、主将、主戦投手かつ中心打者として大阪商大の重鎮であった」

### 連盟生みの親

マネジメントでも才覚を発揮した。

戦後、関西の大学野球が復活するなか、稲葉は昭和22年、大阪理科大学(現近大)の学生監督だった松田博明(平成15年77歳で死去)とともに大阪帝国大学(現阪大)を誘って三校リーグを始めた。昭和23年には神戸商業大学などが加わり近畿六大学野球連盟が発足。平成6年に近畿学生野球連盟と改称して今にいたっている。稲葉は昭和31年から63年まで連盟理事長として運営にも多大な力を尽くした。関西では最古の連盟である近畿学生連盟。その生みの親であり、育ての親として現在も連盟ホームページの「沿革」には最初に稲葉の名が大きく紹介されている。

選手として優れた記録を残したOBは、ほかにも大勢いる。しかし自ら新しいリーグ結成を実現し、市大だけでなく関西の大学野球全体の発展の土台を作った稲葉の功績は絶大なものがある。



大阪商大硬式野球部

る。他の大学のOB、連盟役員からも尊敬を集める偉大な存在だった。

### 南十字星の誓い

多くの硬式野球部OBは、生前の稲葉から戦争中の思い出話を何度も聞いた。

戦争中、出征した稲葉は戦地ラバウルにいた。

「夜になっても敵の艦砲射撃は止む

どころか一層激しくなるんや。防空壕にいても、いつ銃弾が当たるかわからん。でもおれは絶対死にたくなかった。死んでたまるか、や。絶対生きて帰ってもういっぺん野球がしたい。母校も甲子園に連れて行く。おれはそのとき、防空壕の上に見えた南十字星に誓ったんや」

生死の境にあっても、忘れなかった野球への情熱。稲葉はときに「鬼」と恐れられるほどの厳しさを選手を鍛えた。兼務していた扇町商監督として昭和26年には春の甲子園に出場。「南十字星の誓い」を見事実現した。

「チャンスにおごらず、ピンチに屈せずや」

「強敵といえども恐れず、弱敵といえどもあなどらず」

「オン・ルール・フェアプレー」  
(あくまでもルールにのっとり正々堂々と)

「(何事も) 早しよし、ちようど危うし、遅し悪(あ)し」

数々の稲葉語録は今もOB、現役部員に受け継がれている。人間形成のための野球を徹底する「稲葉イズム」が、硬式野球部の伝統と規律を形作った。硬式野球部の初代監督を昭和26年から48年まで歴任。さらにその後3年間総監督も務めた。

### 「バタバタ」…鬼が来た

監督時代。大阪市福島区で自営の縫製業のかたわら後輩の指導をしていた。杉本町のグラウンドまで二輪車で45分。夕刻、現役部員が練習を終えて片付けを始める時間になると、遠くから「バタバタ」と二輪車の音が聞こえる。

「うわー(監督が)来た」

そこからまた練習再開。今でもその「バタバタ」の音は、多くのOBの耳に「地獄の音」としてこびりついている(らしい)。

学生時代から足を痛め、昭和59年に手術をしてからつえが離せなくなった。後年は日本高校野球連盟常任理事、大阪府高野連理事長として高校野球の役務が多かったが、球場内ではいつもバットをつえ代わりしていた。球場には野球道具以外は持ち込むものではない、との信念からだった。

酒もたばこもやらなかったが、スイカが大好物だった。試合が終わり、ひとりで1個をたいらげることもあった。

勝負には妥協を許さなかった。特に旧三商大戦には、ほかの試合以上にこだわった。旧三商大戦で優勝を逃した年は「全員、丸坊主や!」。

就職活動を控えた大事な時期に重なり「スーツが似合わん」「面接の印象が…」と、泣く泣く頭を丸めた4回生は数知れず。

それでも現在の硬式野球部だけでなく、関西の大学野球の土台を築いた偉大なOBとして、その存在は死後20年の今も大きな威光を放つ。硬式野球部のOB会組織化も先頭に立って実行し、役職を定めた。平成3年、新しいOB会を「爽球会」と名付けて発足し、初代会長に就任したのも稲葉だった。

### 葬儀に800人

平成5年5月27日、戦友会の旅行で岐阜・中尾温泉に宿泊中に体調をくずし、心不全で死去。5月30日に北大阪祭典(大阪市淀川区)で行われた葬儀には800人が弔問に訪れ、野球一筋の人生を歩んだ稲葉をしのんだ。

こう思ったことは貫き通す一徹な性格。

「野球をやめろというのは、わしに死ねということや」

生前の声が今も忘れられない。稲葉の前に稲葉なし。稲葉の後に稲葉なし。稲葉イズムは永遠に生き続ける。(敬称略)

### 有恒会運営のお手伝い、ぜひよろしく!

有恒会の活動は総会、ホームカミングデーなどのイベントや大学行事、広報誌編集、ホームページ編集、就職支援活動など多岐にわたる事業が拡大しています。有恒会の充実のため、経験の豊かなあなたのパワーをおかしくください。

特にIT関連(情報システム、HP・メールマガジン等PC活用)で、知識・経験のある方をお待ちしています。

まずは事務局にご連絡ください。お待ちしております。

TEL 06-6605-2087 FAX 06-6605-2088

Eメール yukokai@ado.osaka-cu.ac.jp